

# TPP「大筋合意」 「アベ政治ノ」で 撤退、調印中止を

環太平洋連携協定(TPP)の協議が日本時間

で5日、「大筋合意」が発表されました

が、協定文の作成や調印はこれからです。

TPPは12カ国で署名し、それぞれの議会で承認した後に発効する流れです。

## 前のめりの日本

米国の署名は議会に通知してから90日以上たたないとできず、議会提出も署名から30日

後です。

署名は早くても来年の1月で、議会で審議が始まるのは、大統領選の予備選が集中する3月以降のことです。

米国の次期大統領選挙で民主党の有力候補と目されるヒラリー・クリントン前国務長官は、TPPについて支持しない立場を表明しています(7日)。

米国外でもカナダ、豪州、ニュージーランドなど各国で批准される見込みは高くはないと

言われています。

日本政府だけが前のめりで米国の要求にこたえつつ、国益を次々差し出し、マスコミは「消費者が歓迎」などと報じて、批准を急ぐべきではないでしょう。

## TPPの「拒否権」

太田原高昭氏(北海道大学名誉教授)は、「協定の発効要件は、一部の国の「脱落」を見越して、12か国のGDP総額の85%を占める6

か国以上が手続きを済ませればよいとしている。

日本のGDPは、1国で全体の15%を超えているから、日本が批准できなければ協定は無効となる。

日本国民はTPP協定に対する「拒否権」を持つているのだ。」と言っています。(農業協同組合新聞10月13日)

森島賢氏(立正大学教授)は、「さし迫っているのは、来年7月の参院選である。ここで反TPP派が、党派を超えて大同団結し、選挙に勝つことが、今後の反TPP運動の目標になる。」とも述べています。(正義派の農政論「農業協同組合新聞10月13日」)

## 軒並み関税撤廃

TPP交渉は国民には中身を知らせず異常な秘密交渉が行われてきました。

重要5品目以外でも、8日には農水省が400品目もの追加資料を出し、軒並み関税撤廃か、わずか数%の関税で輸入への抑止力にならないことが判明しました。

農家が米以外に活路を開こうとしても果樹や園芸、6次産業化の加工品まで丸裸で集中攻撃を受けることになり、日本農業は根底から壊滅します。

## 多国籍の大企業の利益のために

TPPの本質は、力が強いアメリカなどのルールを各国に押し付け、多国籍の大企業の利益を図り各国の経済主権を侵害するものです。

例えば自動車の関税は日本がゼロなのに、アメリカ自身は25年間にわたって関税を維持するという不公平な内容です。

まさにアメリカと多国籍企業の利益最優先の合意であり、安倍政権の姿勢は売国的、屈辱的というにふさわしいものです。

## アベ政治ノ

いま、戦争法の強行、原発再稼働、沖縄での米軍新基地建設の押しつけ、消費税増税などの安倍政権の暴走政治に対して、「アベ政治ノ」の国民的な運動が大きく広がっています。この流れを広げ、TPP撤退、調印中止を実現させましょう。

## TPP交渉の主なポイント

日米の市場開放	コメ	米国向けに当初年5万トン(13年目以降7万トン)、豪州向けに同6000トン(同8400トン)の無税輸入枠を新設。既存の輸入義務の枠内でも米産のコメを追加輸入
	小麦	米国、カナダ、豪州向けに国別枠(当初19万2000トン、7年目以降25万3000トン)を新設。事実上の関税である「輸入差益」を9年目までに45%削減
	牛肉	現行38.5%の関税をTPP発効時に27.5%に引き下げ、16年目以降9%。セーフガード(緊急輸入制限)は16年目以降、4年間発効がなければ廃止
	豚肉	低価格品の関税(1キロ482円)は当初125円、10年目以降50円に削減。セーフガードは12年目に廃止。高価格品の関税(4.3%)は当初2.2%、10年目に撤廃
	乳製品	脱脂粉乳とバターに低関税のTPP枠を新設。生乳換算で当初6万トン、6年目以降7万トン。ホエー(乳清)やチーズの一部を長期間かけ関税撤廃
	ワイン	関税を8年目から撤廃
ルール分野	自動車関税	米国が日本製乗用車に対する関税(2.5%)は25年目で撤廃。自動車部品への関税(同)は全体の87%の部品についてTPP発効時に即時撤廃
	原産地規則	関税減免の前提となる域内で作られた部品の調達比率を原則45%以上に設定
	新薬データ保護期間	最先端のバイオ医薬品の開発データの保護期間を「実質8年」とすることで米豪などが合意
ルール分野	著作権	小説や音楽の保護期間を原則、作者の死後70年間に延長
	投資	投資家・国家間の紛争解決(ISDS)条項は乱用防止規定と併せて導入
	国有企業	海外展開する国有企業の優遇を禁止。新興国には一部例外を認める
	政府調達	一定額以上の公共事業に国際入札を義務付ける。新興国に特例措置を設ける

# 記憶遺産登録は亡くなつた戦友への唯一の鎮魂

## 本間 勇（上平形・88歳）

このたびの記憶遺産登録は、現在の平和がいかにして築かれたかを見直し、後世に伝えていくために大変貴重なことだと思います。

今から66年前（昭和24年10月）、夢にまで見た懐かしい故国の舞鶴港の平<sup>た</sup>棧橋に降りました。

大勢の人々の出迎えてでしたが我が家からは来ていませんでした。父は昭和23年病死、2人の兄はフイリピン・レイテ島で戦死していたのです。

日本帝国主義者達によって、軍隊生活約2年、抑留生活4年、東洋平和のためと駆り立てられました。

抑留死した戦友の問題など戦後処理は終わっていません。

なのに戦争の危険はどんどん進んでいます。遠い異国の地で亡くなった戦友に出来ること、それは唯一の鎮魂、記憶遺産として長く保存することです。

この機会に、11月下旬

旬、舞鶴港の平棧橋を踏みしめ抑留4年のドラマを振り返ります。



（写真：舞鶴引揚記念館HPから）

『舞鶴への生還』（シベリア抑留資料）が世界記憶遺産に「本当に良かった」と抑留者・本間勇（平形）さん  
—「しんぶん赤旗」を読んで 青山崇

ユネスコは10日、重要な歴史文書などの保存を目的とする世界記憶遺産に『舞鶴への生還』（舞鶴への生還1945〜1956シベリア抑留等日本人の本

国への引揚げの記録）を登録したと発表した。これまで、日本では慶長遣欧使節資料（仙台藩主伊達政宗が支倉常長らをローマ法王に派遣した資料）等6点

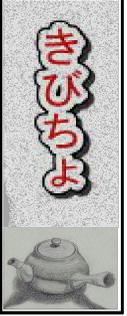
世界では、フランス人権宣言、ベートーベンの第九、グリム童話、共産党宣言等204点が登録されている。

早速本間さんに電話。「次世代に戦争の悲惨を伝えていくためにも本当に良かった」との返事（翌日別掲コメント）。

『舞鶴への生還』は、舞鶴引揚記念館に50

4点が保管され、このうち「白樺日誌」は極寒の地で飢餓や病苦に耐える過酷な生活を、シラカバの皮にスズで作ったインクで書いている。

でもたちに伝える役割が大きくなる。多くの人に発信するための後押しになる」ことに期待すると語っている。



山下美晴館長は「登録がゴールでなく、子どもたちにも伝えていくのがゴールでなく、子どもたちに伝える役割が大きくなる。多くの人が発信するための後押しになる」ことに期待すると語っている。



戦争法を廃止するために「国民連合政府」の結成が呼びかけられて、国民が元気づいているのだから。ここんともオバマさん、よくご承知なんですよ。

これが出る頃には帰ってきているが・・・行ったぜ。行きましたよ。オバマさんここへ。大きな土産を持ってサ。国民に有りつ丈のウソをついて。しかも、明らかに国民の過半数が反対しているところを、強行採決した憲法違反の「戦争法」を持ってダ。

▲表向きは、国連で演説するためとなつているようだが、鼻高々ということだろうヨ。あんな国会の動きは全部承知のはずだが。でも約束は守った、とネ。

▲しかし、アメリカは自分の予備軍ができたと喜んでいるのだろうか。だって今の日本じや、自衛隊を出すのは容易ではないと判つて

るでしょうや。しかも

▲国外へ出兵？は、またまた全国での大きな闘いで、積極的戦争主義者の粉砕だ。

（写真：ロイター通信）国連第70回総会での安倍首相の演説は、座席がガラガラでした



舞鶴引揚記念館：シベリアに抑留されていた旧軍人の引揚者のほとんどが舞鶴港を入港先・帰還港とした。1988（昭和63）年に引揚に関わる資料を展示する日本唯一の施設として設立。  
京都府舞鶴市字平1584番地 引揚記念公園内  
（写真：舞鶴引揚記念館HPから）